

第110期

株主通信

2023年1月1日～2023年12月31日

KITZ
株式会社 キッツ

株主の皆様へ

令和6年能登半島地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2022年度に策定された長期経営ビジョン『Beyond New Heights 2030「流れ」を変える』及び第1期中期経営計画2024の達成に向け、全社一丸となって取り組んでおります。中期経営計画の2年目である2023年12月期は、前期及び当期に実施した価格改定の効果や半導体製造設備向けの増収もあり、前期と比較して増収増益となり、営業利益については中期経営計画の目標であった130億円を前倒しで達成することができました。当社グループは引き続き、社会課題である「デジタル化」と「脱炭素化」を成長領域として捉え、コア市場をさらに強化しながら成長領域へのリソースのシフトを進めるとともに、戦略的に投資を実行して収益構造を変化させていく方針です。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月

代表取締役社長 河野 誠

ドーム兄弟
睡蓮文鶴頸花瓶

制作年：1909年頃

1900年パリ万国博覧会でグランプリを受賞したドーム兄弟は、その後も様々な博覧会で受賞を続けました。特別な機会には、観衆を魅了する芸術作品が制作され、閉幕後はドーム家の宝として保存されました。北澤美術館には、そのような歴史的名作が所蔵されており、その中の一つ《睡蓮文鶴頸花瓶》は、1909年のフランス東部国際博覧会で展示された大作です。この作品は、クロード・モネの印象派の作品を思い起こさせる睡蓮の花と水面に浮かぶ爽やかな風景が、立体的に描かれています。

北澤美術館所蔵

当期の業績と今後の取り組み内容について
河野社長に伺いました。

代表取締役社長 河野 誠



当期(2023年12月期)の連結業績の概要

Q 当期は前期に比べ増収となりました。

A バルブ事業では製造コスト上昇や外部購入品の価格上昇に対応し、当期も価格改定を実施
伸銅品事業が減収ながら、連結売上高は過去最高額を更新

当期の連結売上高は、前期比70億27百万円増の1,669億41百万円となり過去最高額を更新しました。世界経済では、新型コロナウイルス感染症からの正常化が見られた一方で、ロシア・ウクライナ紛争の長期化によるエネルギー資源・原材料価格の高騰や金融引き締めによる景気の下振れ懸念などがあり、国内経済においても、個人消費やインバウンド市場の持ち直しが見られるなど景気は回復基調となり

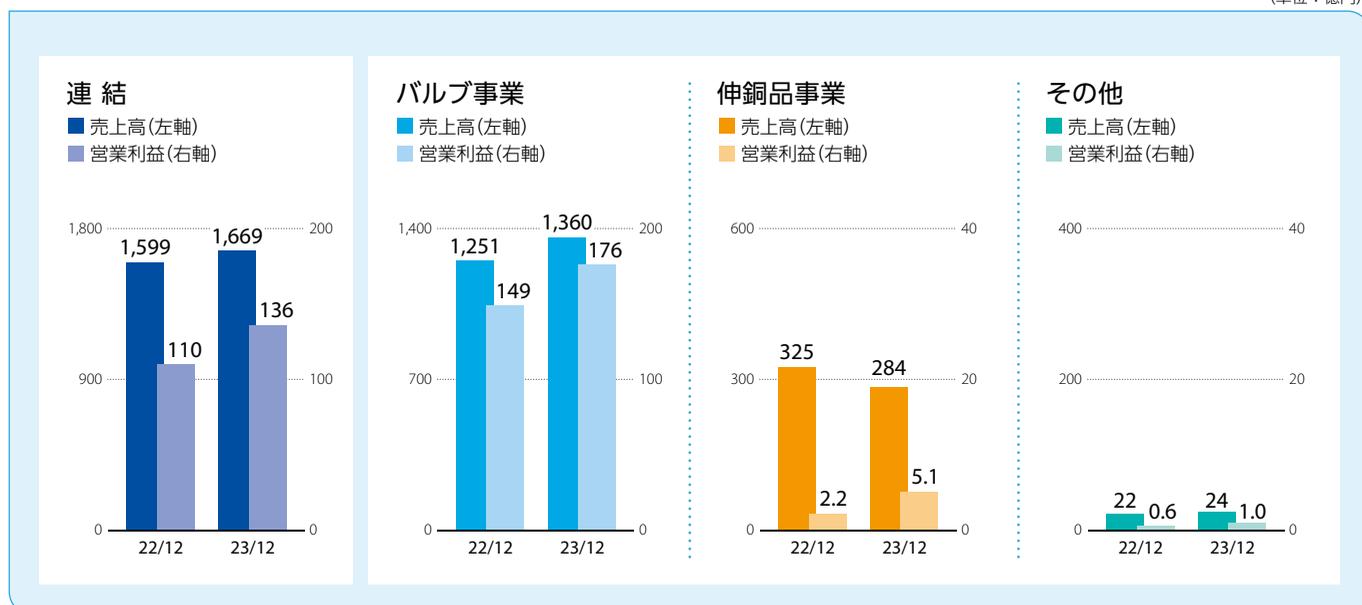
つつあったものの、円安基調の為替相場継続に伴う物価上昇など厳しい状況が継続しました。バルブ事業の国内市場においては、前期及び当期に実施した価格改定効果や半導体製造設備向けの増収があったほか、海外市場では米州向けが増収となったことなどから、前期比108億27百万円増の1,360億16百万円となりました。

伸銅品事業では、売価に影響を与える原材料相場は前年同期と同水準であったものの、販売量が減少したことにより、前期比40億87百万円減の284億25百万円となりました。

その他(サービス関連の事業)については、ホテル事業で新型コロナウイルス感染症による行動規制が撤廃され宿泊客が増加したことや、諏訪湖祭湖上火火大会が予定通り開催されたことなどにより、前期比2億87百万円増の24億99百万円となりました。

セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)



※セグメント別営業利益は全社費用等消去前の数値となっています。

Q 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益も増益で、いずれも過去最高額の計上となりました。

A 全セグメントで前期比増益
投資有価証券売却益の計上等により親会社株主に帰属する当期純利益も大幅に伸長

バルブ事業の営業利益は、増収による増益等により前期比26億45百万円増の176億26百万円となりました。

伸銅品事業の営業利益は、販売量が減少したものの、歩留まり向上などにより、前期比2億90百万円増の5億12百万円となりました。

その他の営業利益は、前期比36百万円増の1億5百万円となり、この結果、連結営業利益は前期比26億36百万円増の136億87百万円となりました。

経常利益は、前期比24億7百万円増の144億52百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の計上等により、前期比20億41百万円増の105億91百万円となりました。

第1期中期経営計画の進捗について

Q 中期経営計画で定めているバルブ事業の8つのターゲット市場について、当期の成果を教えてください。

A グロース市場では半導体装置・機能性化学が大きく伸長、コア市場でも石油化学が伸長し、建築設備・水処理も堅調

2022年後半から続く世界の半導体市況の踊り場的な状況は現在も継続しており、回復は2024年の後半以降となる見込みです。この影響を受け、当社グループでも2023年12月期の半導体関連市場向けの受注は厳しい状況であったものの、半導体装置市場では2022年末の受注残からの売上が計上され売上高を大きく伸ばすことができました。機能性化学市場でも国内・インド市場の好調により売上が伸長し、戦略商品も順調に上市することができました。水素/脱炭素市場も引き合いは確実に増えており、今後ますますの市場拡大が期待できる状況にあります。また、コア市場でも、北米市場向け売上が好調に推移したことにより、石油化学市場で10%を超える伸長を達成した他、建築設備市場・水処理市場も堅調に推移しました。

Q 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について教えてください。

A “ROIC×ESG”経営の推進、成長戦略の加速及びIR戦略の強化により、企業価値の向上を図る

2023年3月、プライム市場及びスタンダード市場の全上場会社を対象に、東京証券取引所から「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請が行われました。この要請を踏まえ、当社では2023年12月13日開催の取締役会で、当社現状の評価・分析に基づき企業価値向上に向けた今後の方針・具体策を決議し、開示いたしました。

当社では、当社の資本収益性は投資家の期待収益率と同水準となっている一方、中長期的な収益の成長性については、市場の信頼を獲得していくことが今後の課題であると認識しており、“ROIC×ESG”経営の推進、成長戦略の加速及びIR戦略の強化を進めることなどにより、さらなる利益の創出、成長期待の醸成及び資本コストの低減を実現し、企業価値の向上を図ってまいります。

2024年12月期の経営計画

Q 2024年12月期の業績見通しについて教えてください。

A 半導体市況の踊り場的局面的継続により売上高は横ばいの計画となるものの、バルブ事業・伸銅品事業の増益計画により、営業利益では第1期中期経営計画の目標130億円を11.5%上回る利益を目指す

半導体市況の影響により半導体装置市場が減収、住宅関連市場の縮小による販売額の減少で伸銅品事業が減収となるものの、コア市場の建築設備市場及び石油化学市場やグロース市場の水素/脱炭素市場の伸長によりカバーし、過去最高を更新する連結売上高1,700億円を計画しています。また利益についても、営業利益145億円、経常利益148億円、親会社株主に帰属する当期純利益106億円と、いずれも過去最高額を目指す計画としております。

第1期中期経営計画2024(2022～2024年度)の実績と数値目標(2024年2月見直し)

	2022年度	2023年度		2024年度	
	実績	計画 (23年5月発表)	実績	計画 (23年2月発表)	計画 (24年2月発表)
売上高	▶ 1,599億円 ▶	▶ 1,690億円 ▶	▶ 1,669億円 ▶	▶ 1,700億円 ▶	▶ 1,700億円 ▶
営業利益	▶ 110億円 ▶	▶ 129億円 ▶	▶ 136億円 ▶	▶ 130億円 ▶	▶ 145億円 ▶
ROE	▶ 10.0% ▶	▶ 9%以上 ▶	▶ 11.1% ▶	▶ 9%以上 ▶	▶ 10%以上 ▶

セグメント別売上高

バルブ事業	▶ 1,251億円 ▶	▶ 1,368億円 ▶	▶ 1,360億円 ▶	▶ 1,366億円 ▶	▶ 1,410億円 ▶
伸銅品事業	▶ 325億円 ▶	▶ 298億円 ▶	▶ 284億円 ▶	▶ 310億円 ▶	▶ 265億円 ▶
その他	▶ 22億円 ▶	▶ 24億円 ▶	▶ 24億円 ▶	▶ 24億円 ▶	▶ 25億円 ▶

セグメント別営業利益

バルブ事業	▶ 149億円 ▶	▶ 173億円 ▶	▶ 176億円 ▶	▶ 170億円 ▶	▶ 183億円 ▶
伸銅品事業	▶ 2億円 ▶	▶ 4億円 ▶	▶ 5億円 ▶	▶ 8億円 ▶	▶ 5億円 ▶
その他	▶ 0億円 ▶	▶ 0億円 ▶	▶ 1億円 ▶	▶ 1億円 ▶	▶ 1億円 ▶
調整額	▶ ▲42億円 ▶	▶ ▲48億円 ▶	▶ ▲45億円 ▶	▶ ▲49億円 ▶	▶ ▲44億円 ▶

非財務目標^{※1}

CO ₂ 削減率 (2013年度比、国内グループ)	▶ ▲67.2% ▶	▶ — ▶	▶ (概算)▲86% ▶	▶ ▲80% ▶	▶ ▲90% ▶
---	------------	-------	--------------	----------	----------

社員エンゲージメントスコア

働きがい ^{※2}	▶ 48pt ▶	▶ — ▶	▶ 48pt ▶	▶ 56pt ▶	▶ 56pt ▶
働きやすさ ^{※3}	▶ 44pt ▶	▶ — ▶	▶ 46pt ▶	▶ 55pt ▶	▶ 55pt ▶
女性社員全体比率	▶ 22.0% ▶	▶ — ▶	▶ 22.2% ▶	▶ 23% ▶	▶ 23% ▶
女性管理職比率 ^{※4}	▶ 3.4% ▶	▶ — ▶	▶ 6.0% ▶	▶ 10% ▶	▶ 10% ▶
男性育児休業取得率	▶ 35.3% ▶	▶ — ▶	▶ 61.0% ▶	▶ 50% ▶	▶ 80% ▶

※1 CO₂削減率を除きキッツ単体 ※2 目標に向けた貢献意欲や帰属意識、自発的努力等を測定する質問項目におけるスコア

※3 スキルや能力を活かす機会、働きやすい環境等を測定する質問項目におけるスコア ※4 管理職:部門長職に就いている社員

Q 最後に、株主の皆様メッセージを
お願いいたします。

A 長期経営ビジョンの達成に向けて

当期末の配当金につきましては、1株当たり23円(前回公表より4円増配)とさせていただきます。中間配当として18円の配当を実施しておりますので、年間配当額は41円と過去最高、連結配当性向は34.7%となりました。2024年は第1期中期経営計画の最後の年にあたり、2025年からの第2期中期経営計

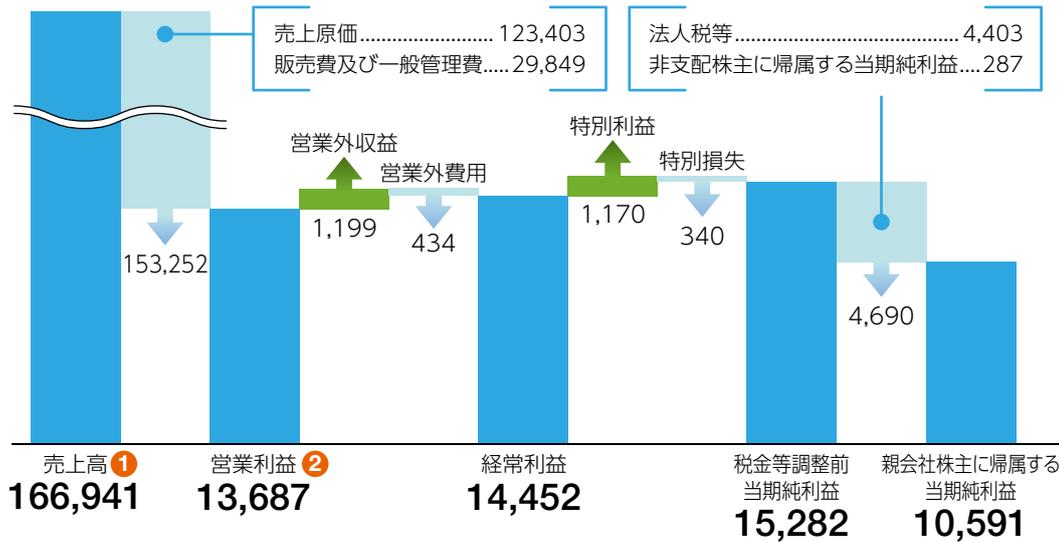
画に向けた「仕込みと準備の年」と位置づけています。第1期中期経営計画の目標として掲げていた数字の達成と同時に、次の成長の波への備えを固めたいと思います。また、今年はパリでオリンピックが開催されます。女子レスリング50kg級には当社所属の須崎優衣が日本代表に内定しておりますので、株主の皆様からも熱いご声援をいただけますと幸いです。当社は、パリオリンピックで2連覇という大きな目標に向かって努力する須崎選手の競技活動を支援し、ともにチャレンジを続けてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

連結損益計算書の概要

当期 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)



Point ①

売上高

パルプ事業で、国内市場では前期及び当期に実施した価格改定効果や半導体製造設備向けの増収があったほか、海外市場においても米州向けを中心に増収となったことなどにより、売上高の総額は前年同期比4.4%増の1,669億41百万円となりました。

Point ②

営業利益

営業利益は、パルプ事業において半導体製造設備向けが増収になったことや海外市場における増収による増益等により、前年同期比23.9%増の136億87百万円となりました。

Point ③

総資産

有形固定資産や現金及び預金、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ141億24百万円増加し1,666億93百万円となりました。

Point ④

負債

未払法人税等や未払金の増加等による流動負債のその他の増加等により、前連結会計年度末に比べ29億59百万円増加し644億86百万円となりました。

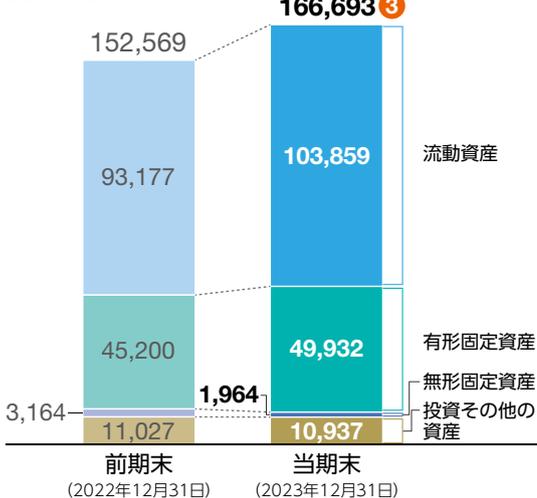
Point ⑤

純資産

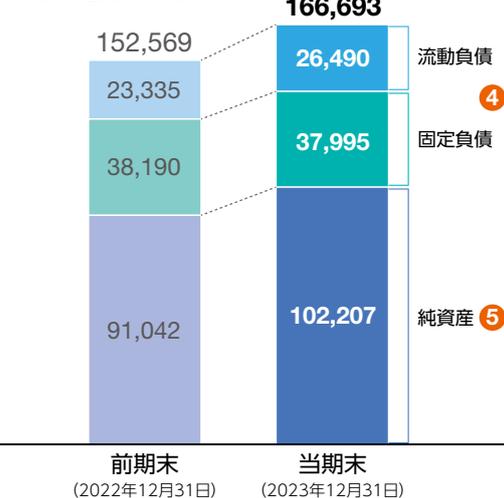
配当金の支払いはありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益105億91百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ111億64百万円増加し1,022億7百万円となりました。

連結貸借対照表の概要

資産の部



負債・純資産の部

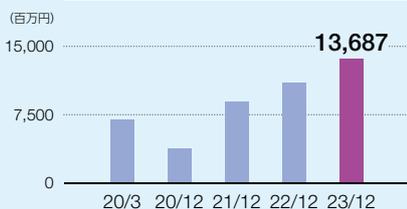


主要連結財務指標の推移

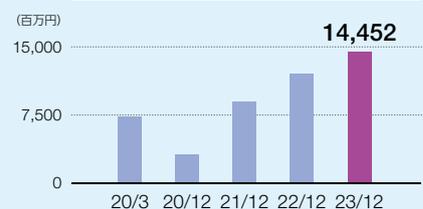
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



自己資本/自己資本比率



※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 ※決算期変更の変則期間である2020年12月期は9ヵ月決算となっています。

令和6年能登半島地震 キッツグループの取り組み

災害時の緊急支援協定に基づき、浄水器を珠洲市に設置。
自衛隊の入浴支援活動を支える

キッツグループ(株式会社キッツ・株式会社清水合金製作所)は、災害時の緊急支援協定に基づき、石川県珠洲市内の健康増進センターへ可搬式膜ろ過浄水装置「アクアレスキュー」2台を設置。近くを流れる河川から取水された水を浄化し、自衛隊が設置する避難所のお風呂や生活用水、トイレの水として提供しました。これにより、珠洲市上戸小学校にて地震発生から6日目で入浴支援活動が実施されました。



「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定

環境、社会、ガバナンス(ESG)における優れた取り組みを行う日本企業のパフォーマンスを反映

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選ばれました。このインデックスは、各セクターの上位50%かつESGスコア2.0以上の日本企業が選定されており、GPIFがESG投資の対象として採用しています。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

ベトナムで起工式を実施

需要増が見込まれるステンレス鋼製バルブの生産能力
拡大とリードタイム短縮をめざす

12月上旬、ベトナム・ヴィンフック省のKITZ Corporation of Vietnam Co.,Ltd.にて起工式を行いました。この新工場建設により、主力製品であるステンレス製品の生産を増強し、需要増に対応します。



東京・大阪で KITZ CONVENTION 2024 の開催を決定

～果敢にチャレンジ～

Take on bold challenges !!

キッツグループは、私たちの変化とチャレンジに触れていただく場として、2030年に向けた製品・サービス、技術を紹介する展示会を開催します。デジタル化と脱炭素化に対応するため、バルブ事業の8つのターゲット市場を整理したブース展示や、水素/環境/ESGの取り組み事例をセミナー形式でご紹介いたします。



5/10 FRI.
東京会場
東京国際フォーラム

5/17 FRI.
大阪会場
梅田サウスホール

連覇を目指す レスリング女子50キログラム級 須崎優衣選手の挑戦

特設応援サイトでは、須崎優衣選手がパリオリンピックで金メダルを獲得するための努力と情熱に迫ります。彼女がどのようにして国内外の強豪選手と闘い、無敗の連勝記録を守っているのか。須崎選手の活躍と挑戦への皆様からのご声援をお願いします。



● 須崎選手応援サイト

特設応援サイト

[当社ホームページ](#)



試合スケジュール

フランス・パリ 日本時間
 8月6日(火) 18:00-20:30 準々決勝まで
 8月7日(水) 01:15-05:00 準決勝(深夜)
 8月8日(木) 01:15-05:00 決勝(深夜)

株主優待のご案内

キッツは、株主の皆様のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(2023年12月31日時点で100株以上保有されている株主様が対象)。

100株以上

①「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)

キッツグループの商品・サービスより、ホテル及び家庭用浄水器の各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。



ホテル紅や 温泉展望浴場【湖空の湯】

1,000株以上

①「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)

上記と同じ

② オリジナルクオカード



1,000株以上 1,000円券 1枚

2,000株以上 2,000円券 1枚

3,000株以上 3,000円券 1枚

③ 以下の優待品より1点を選択

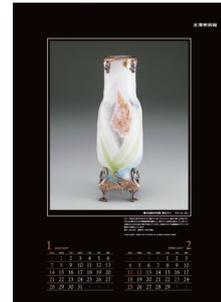
- 北澤美術館ガラス工芸カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館日本画カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館日本画カレンダー(卓上サイズ)
- 北澤美術館への寄付 1,300円
- 日本赤十字社への寄付 1,300円

● 長期保有株主優待

12月31日時点で、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、③の優待品よりさらに1点(計2点)をお選びいただけます。

● 新規株主様への優待

6月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館ガラス工芸カレンダー(大判サイズ)1部をお送りいたします。



2024年版北澤美術館
ガラス工芸カレンダー

北澤
美術館

公益財団法人北澤美術館は、キッツの創業者 北澤利男が設立した美術館であり、キッツは、社会貢献活動の一環としてその活動を支援しています。北澤美術館は、19世紀末フランスのアル・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外から高く評価されています。

株主優待制度による寄付のご報告

2022年12月31日時点の株主様を対象とした株主優待において、寄付をお選びいただいた株主様からの寄付金につきましては、下記の通り実施いたしましたのでご報告申し上げます。

〈寄付金額〉・公益財団法人北澤美術館 5,239,000円 ・日本赤十字社 1,144,000円

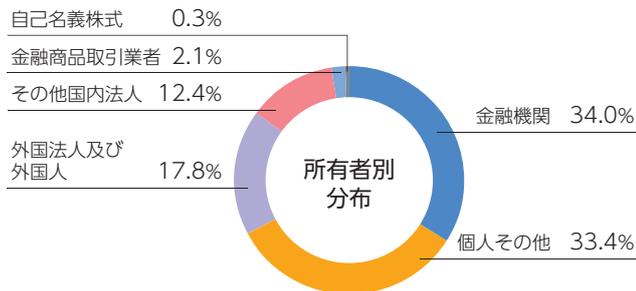
〈寄付日〉2024年1月31日

株式の状況

- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 90,110,946株
(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2023年12月31日に保有する自己株式285,565株を含めておりません。
- 株主数 14,448名
(注) 上記株主数には当社を含めておりません。
- 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	9,786 10.86
北沢会持株会	5,134 5.70
日本生命保険相互会社	4,303 4.78
住友生命保険相互会社	3,448 3.83
公益財団法人北澤育英会	3,411 3.79
キッツ取引先持株会	3,287 3.65
株式会社日本カストディ銀行	2,596 2.88
株式会社三井住友銀行	2,553 2.83
キッツ従業員持株会	2,105 2.34
セコム損害保険株式会社	1,702 1.89

- (注) 1. 当社は、2023年12月31日現在、自己株式285千株を保有しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式396千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 9,786千株
株式会社日本カストディ銀行 2,596千株
3. 住友生命保険相互会社の持株数には、変額口6千株及び特別勘定32千株を含んでおります。



期末配当金のお支払について

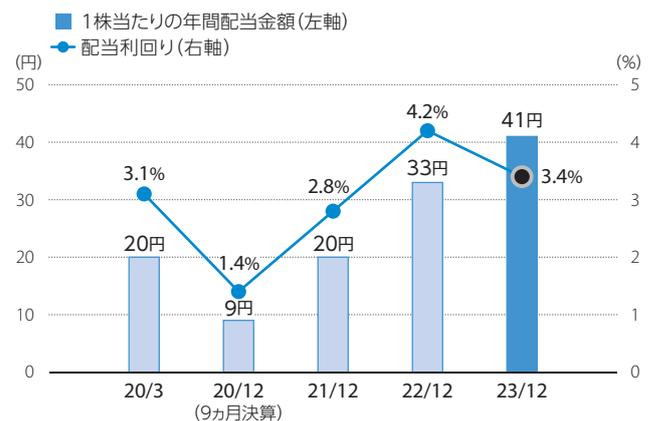
2024年2月27日開催の当社取締役会におきまして、第110期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金:1株当たり 金23円
効力発生日ならびに支払開始日:2024年3月11日(月)

同封の「第110期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2024年3月11日~2024年4月12日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第110期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元として配当金を経営上の重要課題と位置づけており、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮したうえで、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。



株主メモ

- 事業年度 1月1日~12月31日
- 定時株主総会 3月
- 基準日 定時株主総会議決権 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL (<https://www.kitz.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

会社概要 (2023年12月31日現在)

- 商号 株式会社キッツ
- 本社 東京都港区東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング
- 代表者 代表取締役社長 河野 誠
- 資本金 21,207,084,670円
- 設立年月日 1951年1月26日
- 従業員数 (単体)1,443名 (連結)5,382名

ウェブサイトのご案内

企業情報のほか、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp>

